

HXXX 研究デザイン実習

前期 MPH 選択・MCR 必修

授業日時:	金曜日 2 限
担当分野:	医療疫学
担当教員:	科目責任者: 福原 俊一 竹上 未紗、大西 良浩、Joseph Green、三品 浩基、岩田 和彦
教室:	G 棟 3F 演習室
基礎・応用等レベル:	初級レベル
先修・推奨科目等:	「研究デザイン特論 I」を履修することを必須とする
主担当教員連絡先:	福原 俊一 (G 棟 2 階 TEL. 753-4646、FAX. 753-4644) E-mail: fukuhara.shunichi.6m@kyoto-u.ac.jp

I. コースの概要

社会健康医学領域の研究(実験的研究を除く)を行う際の基本的な手順・スキルを学ぶ。また、研究の概念モデルを構成する測定概念を変数に変換する作業、変数測定法の信頼性と妥当性の検討についても学ぶ。

II. 学習到達目標 (このコース終了時まで習得が期待できること)

- ・ 漠然とした疑問を最終的に構造化抄録の形にできる。
 - 1) リサーチクエスチョンを構造化できる
 - 2) 概念モデルを作成できる
 - 3) リサーチクエスチョンに適したデザインを選択できる
 - 4) 概念を測定できる変数に変換できる
 - 5) 変数測定のためのツール(調査票など)を作成できる
 - 6) 調査研究をデザインし、実施できる

III. 教育・学習方法

- ・ 小グループによるグループ作業・ディスカッション、発表

IV. 学習資源

(推奨テキスト:購入は必須ではありません)

福原 俊一「臨床研究の道標:7つのステップで学ぶ研究デザイン」健康医療評価研究機構

Hulley S: Designing Clinical Research 2nd ed. William & Wilkins

(和訳:臨床研究のデザイン 医学書院 MYW)

福原 俊一「リサーチクエスチョンの作り方」健康医療評価研究機構

松村 真司「概念モデルをつくる」健康医療評価研究機構

竹上 未紗, 福原 俊一「誰も教えてくれなかった QOL 活用法」健康医療評価研究機構

V. 学生に対する評価方法

- ・ 出席・グループ学習への貢献度(50%)
- ・ プロトコール概要の発表(50%)

VI. その他メッセージ

- ・ 「疫学(MPHコア)」を履修済み(あるいは履修中)であること、かつ、「研究デザイン特論Ⅰ」を履修済み(あるいは履修中)であることが履修要件です

人間健康科学系専攻学生の受講可否: 不可

コース予定・内容 (変更の可能性があるので開講日に確認してください)

第1回	4月25日	RQ作成(PECO), FIRMNESS チェック
第2回	5月9日	概念モデルの作成
第3回	5月16日	測定のデザイン
第4回	5月30日	デザインの型を選択する
第5回	6月6日	比較の質を高める
第6回	6月20日	尺度を作成する
第7回	7月11日	調査計画を立てる
第8回	7月25日	発表会(1.2限)
